

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 ー
 コード番号 ー URL https:// www.kaiho-bank.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新城 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 高良 彦行 (TEL) 098(867)2112
 特定取引勘定設置の有無 : 有・無
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,747	14.3	827	△7.4	660	△4.2
2025年3月期第1四半期	3,277	△2.9	894	1.6	689	9.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,160百万円(ー%) 2025年3月期第1四半期△1,075百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	194 64	ー
2025年3月期第1四半期	203 35	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	777,544	42,579	5.4
2025年3月期	767,596	41,503	5.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 42,539百万円 2025年3月期 41,462百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	25.00	ー	25.00	50.00
2026年3月期	ー				
2026年3月期(予想)		25.00	ー	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	930	△45.5	650	△50.0	191	65
通期	1,860	73.7	1,300	75.8	383	31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	3,400,000株	2025年3月期	3,400,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	8,713株	2025年3月期	8,713株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	3,391,287株	2025年3月期1Q	3,391,652株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（義務）・有（任意）・無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
（セグメント情報等の注記）	5
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	5
（継続企業の前提に関する注記）	5
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	5
3. 補足情報	6
（1）損益の概況【単体】	6
（2）預金・貸出金等の状況【単体】	8
①預金、②預かり資産	8
③貸出金	9
（3）金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】	10
（4）時価のある有価証券の評価差額【単体】	10

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)の経営成績について、経常収益は、貸出金利息や役員取引等収益が増加したことなどによって、前年同期比4億70百万円増加の37億47百万円となりました。

一方、経常費用は、預金利息や営業経費が増加したことなどによって、前年同期比5億37百万円増加の29億20百万円となりました。

これにより、経常利益は、前年同期比66百万円減少の8億27百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比29百万円減少の6億60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末(2025年6月30日)の財政状態について、総資産は、前連結会計年度末比99億48百万円増加の7,775億44百万円、純資産は、前連結会計年度末比10億75百万円増加の425億79百万円となりました。

主要勘定としては、貸出金は、事業性貸出および消費性ローンは増加しましたが、地方公共団体向け貸出の減少などによって、前連結会計年度末比12億41百万円減少の5,640億75百万円となりました。

預金については、個人預金および公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比81億24百万円増加の7,262億11百万円となりました。

有価証券は、債券の減少などにより前連結会計年度末比47億68百万円減少の1,259億66百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想は、2025年5月13日に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	58,700	74,458
コールローン及び買入手形	—	—
有価証券	130,734	125,966
貸出金	565,317	564,075
外国為替	—	—
その他資産	1,937	2,240
有形固定資産	7,943	7,881
無形固定資産	672	649
退職給付に係る資産	1,236	1,243
繰延税金資産	1,995	1,771
支払承諾見返	2,757	2,913
貸倒引当金	△3,700	△3,656
資産の部合計	767,596	777,544
負債の部		
預金	718,086	726,211
外国為替	—	—
その他負債	4,422	5,200
賞与引当金	316	134
退職給付に係る負債	304	299
役員退職慰労引当金	130	113
偶発損失引当金	74	92
繰延税金負債	—	—
支払承諾	2,757	2,913
負債の部合計	726,092	734,965
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	37,031	37,606
自己株式	△31	△31
株主資本合計	44,757	45,332
その他有価証券評価差額金	△3,461	△2,941
退職給付に係る調整累計額	166	148
その他の包括利益累計額合計	△3,294	△2,792
非支配株主持分	41	39
純資産の部合計	41,503	42,579
負債及び純資産の部合計	767,596	777,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	3,277	3,747
資金運用収益	2,640	3,139
(うち貸出金利息)	2,360	2,806
(うち有価証券利息配当金)	244	262
役務取引等収益	337	374
その他業務収益	—	0
その他経常収益	299	233
経常費用	2,383	2,920
資金調達費用	55	323
(うち預金利息)	48	320
(コールマネー利息及び売渡手形利息)	3	—
役務取引等費用	229	239
その他業務費用	0	15
営業経費	2,074	2,270
その他経常費用	24	72
経常利益	894	827
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
減損損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	893	827
法人税、住民税及び事業税	96	168
法人税等調整額	109	△0
法人税等合計	206	168
四半期純利益	687	658
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	689	660

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	687	658
その他の包括利益	△1,763	501
その他有価証券評価差額金	△1,746	519
退職給付に係る調整額	△16	△17
四半期包括利益	△1,075	1,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,073	1,161
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当行グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	135百万円	158百万円

3. 補足情報

(1) 損益の概況

○2026年3月期 第1四半期決算概要

経常収益は前年同期比4億64百万円増加し、経常利益が前年同期比68百万円減少したことにより、当四半期は前年同期比「増収・減益」の決算内容となりました。

(単位：百万円)

単体	2024/6期 (3ヶ月間)	2025/6期 (3ヶ月間)		26/3期予想 (12ヶ月間)
			2024/6期比	
1 経常収益	3,274	3,739	464	
2 業務粗利益	2,689	2,928	238	
3 資金利益	2,585	2,816	231	
4 役務取引等利益	104	127	22	
5 その他業務利益	△0	△15	△15	
6 うち国債等債券損益(5勘定戻)	—	△15	△15	
7 経費(除く臨時処理分)	2,081	2,276	195	
8 人件費	1,059	1,184	124	
9 物件費	836	903	67	
10 税金	185	189	4	
11 実質業務純益(注1)	608	651	43	2,520
12 コア業務純益(注2)	608	666	58	2,520
13 除く投資信託解約損益	608	666	58	
14 一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—	
15 業務純益	608	651	43	2,410
16 臨時損益	294	182	△111	
17 株式等損益(3勘定戻)	23	163	139	
18 不良債権処理損失(△) ②	16	53	36	
19 貸出金償却	—	—	—	
20 個別貸倒引当金繰入額	—	—	—	
21 偶発損失引当金繰入額	—	17	17	
22 その他の債権売却損等	16	35	19	
23 貸倒引当金戻入益 ③	245	43	△201	
24 償却債権取立益 ④	3	5	1	
25 偶発損失引当金戻入益 ⑤	19	—	△19	
26 その他臨時損益	19	22	3	
27 経常利益	903	834	△68	1,860
28 特別損益	△0	0	0	
29 固定資産処分損益	△0	0	0	
30 減損損失	—	—	—	
31 税引前四半期純利益	903	834	△68	
32 法人税・住民税及び事業税	96	168	72	
33 法人税等調整額	108	△1	△109	
34 法人税等合計	205	167	△37	
35 四半期(当期)純利益	697	666	△31	1,300
(ご参考)				
36 与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△251	4	255	
37 顧客向けサービス利益(注3)	362	424	62	
38 顧客向けサービス利益率(注4)	0.19%	0.23%	0.03%	

(注1)「実質業務純益」は一般貸倒引当金額を除く業務純益。

(注2)「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益(5勘定戻)を除く業務純益。

(注3)「顧客向けサービス利益」=貸出金平残×預貸金利回り差×経過日数÷365+役務取引等利益-経費(人件費は臨時処理分控除前)

(注4)「顧客向けサービス利益率」=顧客向けサービス利益÷預金平残÷経過日数×365×100

(注5) (1) 損益の概況における前年同期比の増減額は円単位で計算し、単位未満を切り捨てております。

3. 補足情報

(1) 損益の概況

○経常収益

経常収益は、貸出金利息および預け金利息、役員取引等収益などが増加したことなどにより、前年同期比4億64百万円増加の37億39百万円となりました。

○経常費用

経常費用は、預金利息や経費が増加したことなどにより、前年同期比5億33百万円増加の29億4百万円となりました。

○経常利益

経常利益は、前年同期比68百万円減少の8億34百万円となりました。その結果、当四半期は前年同期比「増収・減益」の決算内容となりました。

単体 経常収益、経常費用の主な内訳

(単位：百万円)

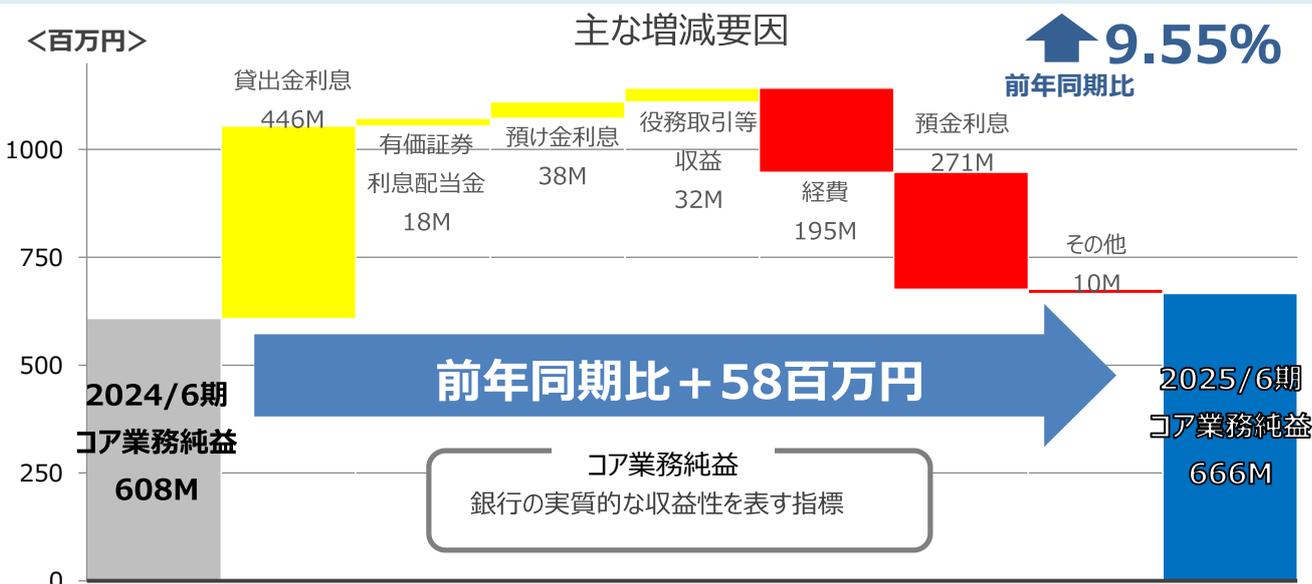
	2025/6期		24/6期比		2025/6期		24/6期比
	金額	24/6期比			金額	24/6期比	
経常収益	3,739	464		経常費用	2,904	533	
資金運用収益	3,139	499		資金調達費用	323	267	
貸出金利息	2,806	446		預金利息	320	271	
有価証券利息配当金	262	18		役員取引等費用	238	9	
預け金利息	67	38		その他の役員費用	205	6	
役員取引等収益	365	32		その他業務費用	15	15	
受入為替手数料	102	△0		経費	2,276	195	
その他の役員収益	263	33		人件費	1,184	124	
その他業務収益	0	0		物件費	903	67	
臨時収益	233	△67		臨時費用	50	44	
貸倒引当金戻入益	43	△201					
株式等売却益	176	152		経常利益	834	△68	

単体 コア業務純益の前年同期比増減要因

○コア業務純益

貸出金利息や役員取引等収益の増加などが利益を押し上げたことにより、コア業務純益は前年同期比58百万円増加の6億66百万円となりました。

$$\begin{aligned} (\text{コア業務純益} &= \text{業務粗利益} - \text{国債等債券損益} - \text{経費}) \\ (666\text{M} &= 2,928\text{M} - \triangle 15\text{M} - 2,276\text{M}) \end{aligned}$$



3. 補足情報

(2) 預金・貸出金等の状況

① 預金

法人預金および個人預金は増加しましたが、地方公共団体その他預金が減少したことによって、前年同期比78億52百万円減少の7,264億2百万円となりました。期末残高の減少率は1.06%となっております。

平均残高は83億2百万円減少の7,226億55百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2024/6期末	2025/3期末	2025/6期末	2025/6期末比	
				2024/6期末比	2025/3期末比
預金(期末残高)	734,254	718,239	726,402	△7,852	8,163
個人	478,055	477,863	480,152	2,097	2,289
法人	213,353	222,585	216,124	2,771	△6,461
地方公共団体その他	42,845	17,789	30,125	△12,720	12,336
預金(平均残高)	730,957	723,497	722,655	△8,302	△842

単体 預金(期末残高)の推移



単体 預金(通期平均 利回り)の推移



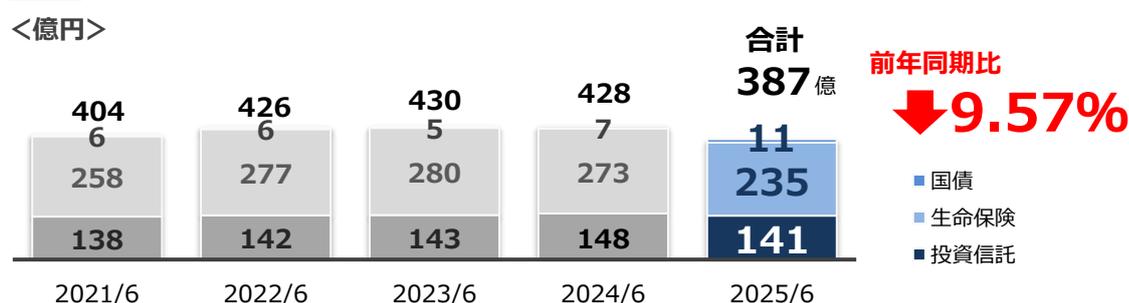
② 預かり資産

投資信託は、販売額の低下によって減少し、生命保険の残高は外貨建て保険の解約等の影響により減少しました。その結果、預かり資産残高は、前年同期比41億8百万円減少の387億85百万円となりました。期末残高の減少率は9.57%となっております。

(単位：百万円)

単体	2024/6期末	2025/3期末	2025/6期末	2025/6期末比	
				2024/6期末比	2025/3期末比
預かり資産	42,893	38,861	38,785	△4,108	△76
投資信託	14,808	13,705	14,119	△689	414
生命保険	27,336	24,174	23,520	△3,816	△654
国債	749	981	1,144	395	163

単体 預かり資産(期末残高)の推移



3. 補足情報

(2) 預金・貸出金等の状況

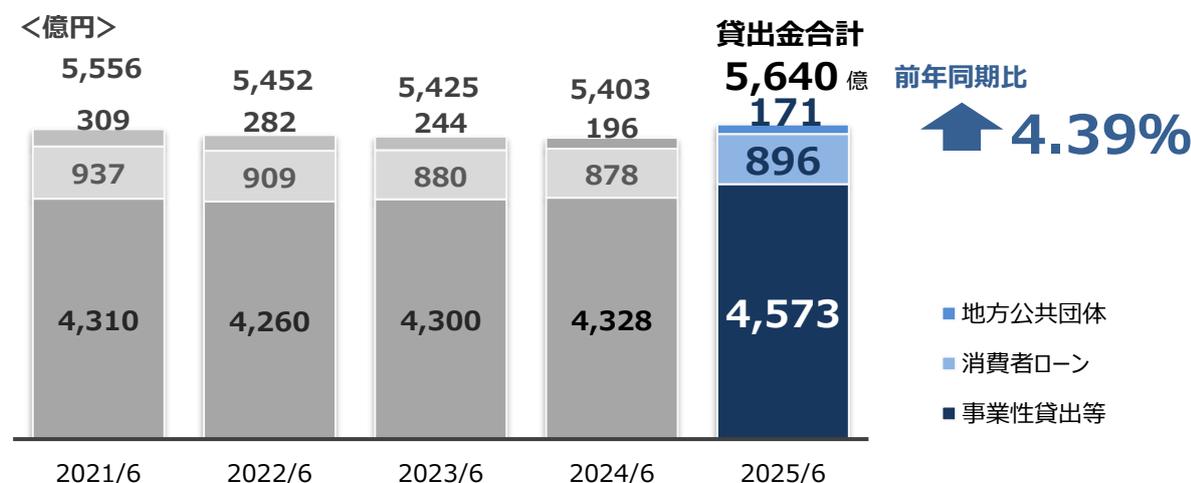
③ 貸出金

期末残高は、地方公共団体向け融資は減少したものの、事業性貸出金および消費者ローンが増加したことにより、前年同期比237億30百万円増加の5,640億75百万円となりました。期末残高の増加率は4.39%となっております。

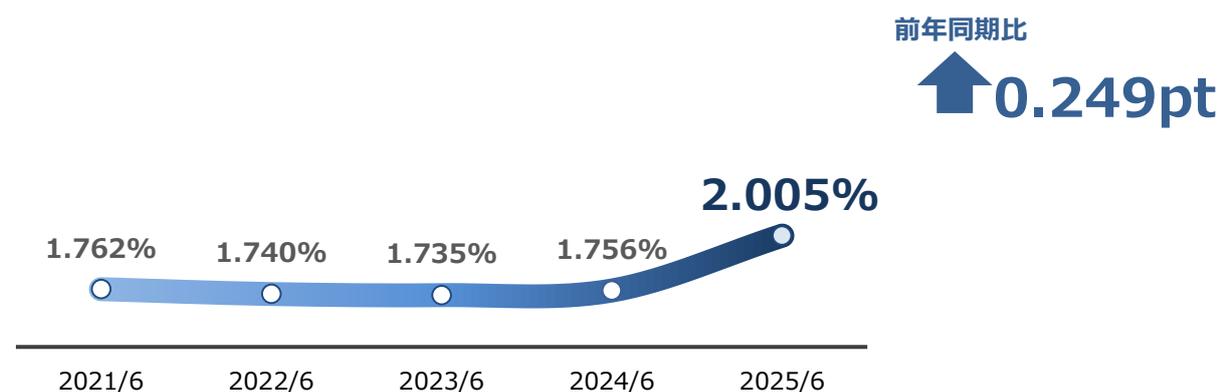
(単位：百万円)

単体	2024/6期末	2025/3期末	2025/6期末	2025/6期末比	
				2024/6期末比	2025/3期末比
貸出金（期末残高）	540,345	565,317	564,075	23,730	△1,242
事業性貸出等	432,838	455,849	457,345	24,507	1,496
消費者ローン	87,867	89,083	89,624	1,757	541
住宅ローン	64,309	63,943	63,988	△321	45
地方公共団体	19,638	20,384	17,106	△2,532	△3,278
貸出金（平均残高）	539,131	552,011	561,371	22,240	9,360

単体 貸出金（期末残高）の推移



単体 貸出金（通期平均 利回り）の推移



3. 補足情報

(3) 金融再生法ベースの категорияによる開示

金融再生法開示債権は、要管理債権の減少などにより、前年同期比9億18百万円減少の146億47百万円となりました。開示債権比率は前年同期比0.28ポイント減少の2.58%となりました。

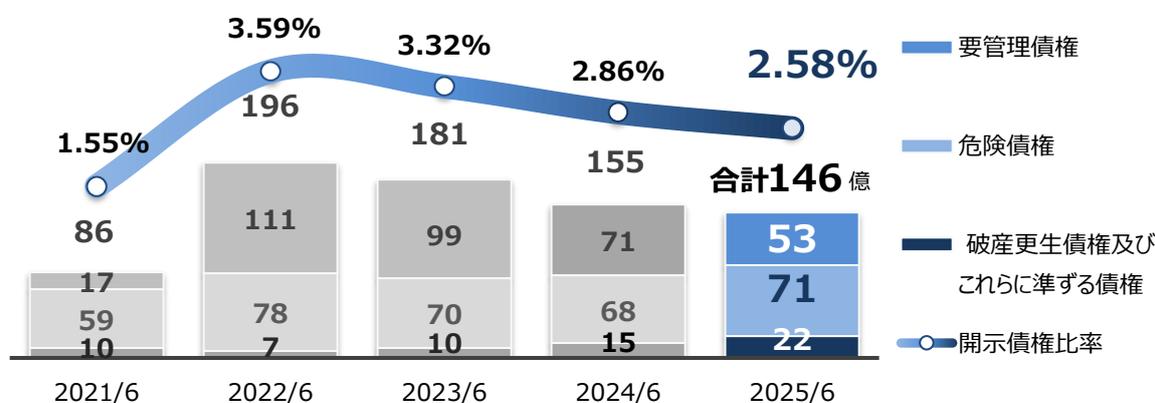
(単位：百万円)

単体	2024/6期末	2025/3期末	2025/6期末	2024/6期末比	2025/3期末比
	金融再生法開示債権	15,565	15,672	14,647	△918
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,595	2,147	2,209	614	62
危険債権	6,823	8,023	7,116	293	△907
要管理債権	7,147	5,501	5,321	△1,826	△180
正常債権	527,849	552,882	552,879	25,030	△3
総与信額	543,415	568,555	567,526	24,111	△1,029
開示債権比率	2.86%	2.75%	2.58%	△0.28pt	△0.17pt

(注) 上記の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

単体 金融再生法開示債権（期末残高）の推移

<億円>



(4) 時価のある有価証券の評価差額

有価証券は、債券の売却で簿価ベースの残高は減少しましたが、国内金利の上昇に伴い債券価格が下落し、前年同期比で評価損が拡大しました。

(単位：百万円)

単体	2024/6期末		2025/3期末		2025/6期末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
其他有価証券	159,276	△3,261	128,751	△5,067	123,980	△4,315
株式	4,326	1,700	3,694	1,464	3,343	1,466
債券	147,581	△6,918	118,669	△7,989	114,484	△7,635
その他	7,367	1,957	6,387	1,457	6,151	1,854

(注) 1. 「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券は保有しておりません。